

OSS Vulnerability Report**OSS脆弱性レポート**

クイックチェックレポート

加工済み依存関係データと公開脆弱性情報に基づき、顧客回答 開発者確認 監査準備の前に全体像、確認候補、未確認範囲を把握するためのクイックチェックレポートです

このクイックチェックレポートでは、自動照合で見えた事実、見えていない範囲、次に人が確認すべき論点を切り分けます。省略のない自動生成版が必要な場合は詳細レポートへ、最終的な安全判断に向けて担当者コメントが必要な場合はエキスパートレビューへお進みください。

クイックチェックレポートで得られる価値: 初動整理

クイックチェックレポートだけでも、依存関係の規模、公開脆弱性情報と照合できた範囲、既知脆弱性候補、照合対象外の理由を短時間で把握できます。顧客回答前の社内確認、開発者への最初の相談、監査記録の下地として使える初動整理の資料です。

- クイックチェックレポートで把握できること: package名 version ecosystem scope relationship OSV/GHSA/CVE系ID 先頭IDへのOSVリンク 候補件数 照合対象外理由
- クイックチェックレポートで始められること: 確認すべき候補の洗い出し 開発者への一次確認 顧客回答前の社内論点整理 監査記録の下書き
- 詳細レポートで深めること: クイックチェックレポートで省略した続きまで含め、追加情報を反映した完全版を自動生成します。
- エキスパートレビューで加わること: 詳細レポートに追加して、ストラテジアの情報処理安全確保支援士であるエキスパート担当者がコメントを付けます。

初動確認目安の読み方

この確認目安は、クイックチェックレポート内で最初に見る順番を決めるための目印です。最終的な危険度、影響有無、顧客通知可否を断定するものではありません。

通常

クイックチェックレポートの自動照合では、優先確認を強く促す目印は出ていません。影響なしの証明ではないため、必要に応じて利用状況を確認してください。

要確認

候補あり version不明 private package 照合対象外など 初動で人が見るべき論点があります。

注意

候補数が多いなど 顧客回答や開発依頼の前に優先確認すべき状態です。

重要

secret候補など 初動の段階で送信停止または強い確認が必要な状態です。

1. 初動整理サマリー

入力dependency件数

17

照合対象dependency件数

17

脆弱性候補があるdependency件数

17

注意

脆弱性候補件数

80

注意

このクイックチェックレポートでまず得られること

- 入力dependency 17件の規模感と、公開脆弱性情報へ照合できたdependency 17件を確認できます。
- 既知脆弱性候補 80件 / 該当dependency 17件を、顧客回答前に見るべき候補として把握できます。
- 優先確認表で 17件の候補を並べ、開発者へ最初に相談する対象を絞り込めます。

一次所見（一部プレビュー）

加工済み依存関係データと公開脆弱性情報の照合により 既知脆弱性候補が確認されています。

この結果は最終的な影響判断ではありませんが 顧客回答前 開発者確認前 監査記録作成前に優先して確認すべき項目です。

ほか、残り1項目あります。

一次所見の続きは詳細レポートで自動生成します。

確認上の注意点

- 既知脆弱性候補が 80 件あります。該当OSSの利用有無 修正版の有無 本番影響を確認してください。
- 脆弱性候補があるdependencyが 17 件あります。顧客回答前に優先確認してください。

この章は、初動整理に必要な件数と確認論点だけを一覧化したものです。ここでの数値は自動照合の結果であり、影響有無や対応要否の最終判断ではありません。

2. 責任者向け初動判断メモ（一部プレビュー）

責任者向け初動判断メモ（一部プレビュー）

このクイックチェックレポートは 顧客回答前に社内で何を確認すべきかを整理できる初動資料です。

責任者は この資料を見て 既知脆弱性候補の有無 本番利用確認の必要性 顧客回答前に追加確認すべき範囲を判断してください。

この項目はクイックチェックレポートで表示できる範囲をすべて表示しています。

責任者が確認すべき判断ポイント（一部プレビュー）

1. 既知脆弱性候補があるため 顧客回答前に開発者確認と責任者確認を優先してください。
2. このクイックチェックレポートを社内確認用資料として扱うか 顧客提出時の参考文書として整える必要があるか。

ほか、残り4項目あります。

責任者が確認すべき判断ポイントの続きは詳細レポートで自動生成します。

3. 顧客向け一次回答案（一部プレビュー）

クイックチェックレポートでは、顧客回答の方向性をつかめるように先頭2項目まで表示します。そのうえで、顧客提出時の参考になる回答文面のたたき台、確認済み事項と未確認事項の切り分け、対応予定の整理は詳細レポートで自動生成します。

当社の加工済み依存関係情報に基づく一次確認では 既知脆弱性候補があるdependencyを確認しています。

現時点では本番環境への組み込み有無 該当機能の利用有無 外部からの到達可能性について追加確認が必要です。

ほか、残り1項目あります。

顧客向け一次回答案の続きは詳細レポートで自動生成します。

初動整理の次に選べるメニュー

詳細レポート（自動生成）：このレポートの脆弱性候補 80件 / 該当dependency 17件 を起点に、追加情報がある場合に限り 顧客に提出しやすい文面へ整え 確認済み事項 未確認事項 対応予定を分けて記載します。

エキスパートレビュー（担当者コメント）：詳細レポートに追加して、ストラテジアの情報処理安全確保支援士であるエキスパート担当者が 断定してよい表現 避けるべき表現 契約や監査で誤解されやすい表現を確認します。

4. 開発者向け確認事項（一部プレビュー）

クイックチェックレポートでは、開発チームに最初に確認してほしい観点を先頭2項目まで表示します。具体的な確認手順、チケット文面、顧客回答へ反映するための整理は詳細レポートで自動生成します。

1. 既知脆弱性候補があるdependencyを優先して確認してください。
2. 対象dependencyが本番ビルドまたは本番実行環境に含まれるか確認してください。

ほか、残り5項目あります。

開発者向け確認事項の続きは詳細レポートで自動生成します。

初動整理の次に選べるメニュー

詳細レポート（自動生成）：このレポートの優先確認表の17件を起点に、追加情報がある場合に限り開発チームへ依頼しやすい確認項目やチケット文面へ整理します。

エキスパートレビュー（担当者コメント）：詳細レポートに追加して、ストラテジアの情報処理安全確保支援士であるエキスパート担当者がRCE認証前到達外部公開機能への影響など自動処理だけで判断しにくい論点を確認します。

5. 入力データ概要

入力データ概要は、今回の自動照合で何を材料にしたかを示す記録です。 private package名や内部利用状況など、追加確認が必要な情報も早い段階で把握できます。

入力種別	cyclonedx
dependency件数bucket	1_50
private package件数bucket	0
URL削除件数bucket	0
secret候補検出	検出なし

ecosystem別件数

分類	件数	確認目安
npm	17	通常

scope別件数

分類	件数	確認目安
runtime	15	通常
unknown	1	通常
optional	1	通常

relationship別件数

分類	件数	確認目安
unknown	17	通常

照合可否分類

分類	件数	確認目安
queryable	17	通常

初動整理の次に選べるメニュー

詳細レポート（自動生成）：このレポートでは入力dependency 17件のうち 照合対象dependency 17件、照合対象外または精度限定の項目 0件を把握できます。追加情報がある場合に限り private package名や内部利用状況も踏まえ、理由と確認に必要な情報を整理します。

エキスパートレビュー（担当者コメント）：詳細レポートに追加して、ストラテジアの情報処理安全確保支援士であるエキスパート担当者が入力データの不足が残る場合は 影響判断に使えない範囲と追加確認が必要な範囲を明示します。

6. 公開脆弱性照合結果サマリー

この章は、公開脆弱性情報との自動照合で見た候補と、照合できなかった範囲を分けて確認するための内訳です。候補があることは影響ありの断定ではなく、候補がないことも影響なしの証明ではありません。

照合対象dependency件数	17
脆弱性候補があるdependency件数	17
脆弱性候補件数	80

照合対象外の理由別件数

該当データはありません

初動整理の次に選べるメニュー

詳細レポート（自動生成）：このレポートで検出された脆弱性候補 80件 / 該当dependency 17件を、顧客回答前に見るべき候補として把握できます。詳細レポートでは、追加情報がある場合に限り 候補ごとの確認論点と未確認事項を自動整理します。

エキスパートレビュー（担当者コメント）：詳細レポートに追加して、ストラテジアの情報処理安全確保支援士であるエキスパート担当者が 重要度が高い候補や判断が難しい候補について 追加確認に必要な利用状況 到達可能性 修正版情報などの論点を明示します。

7. 優先確認項目

優先確認項目は、初動で見る順番を作るための自動並び替えです。脆弱性候補数が多いものを先にし、同数の場合は本番利用されやすいscope、直接依存、package名の順に表示しています。重大度 悪用状況 修正版の有無 顧客通知要否そのものの順序ではありません。クイックチェックレポートではOSV_ID列のOSVリンクは先頭1件だけです。2件目以降はIDのみ表示します。

ecosystem	package	version	scope	relationship	候補数	OSV_ID	確認目安
npm	axios	0.21.0	runtime	unknown	17	GHSA-3p68-rc4w-qgx5 , GHSA-43fc-jf86-j433, GHSA-4w2v-q235-vp99, GHSA-5c9x-8gcm-mpgx, GHSA-62hf-57xw-28j9, GHSA-6chq-wfr3-2hj9, GHSA-cph5-m8f7-6c5x, GHSA-fvcv-3m26-pcqx, GHSA-jr5f-v2jv-69x6, GHSA-m7pr-hjqh-92cm, GHSA-pf86-5x62-jrwf, GHSA-pmwg-cvhr-8vh7, GHSA-vf2m-468p-8v99, GHSA-w9j2-pvgh-6h63, GHSA-wf5p-g6vw-rhxx, GHSA-xhjh-pmcv-23jw, GHSA-xx6v-rp6x-q39c	注意

ecosystem	package	version	scope	relationship	候補数	OSV_ID	確認目安
npm	node-forge	0.9.0	runtime	unknown	15	GHSA-2328-f5f3-gj25 , GHSA-2r2c-g63r-vccr, GHSA-554w-wpv2-vw27, GHSA-5gfm-wpxj-wjgq, GHSA-5m6q-g25r-mvwx, GHSA-5rrq-pxf6-6jx5, GHSA-65ch-62r8-g69g, GHSA-8fr3-hfg3-gpgp, GHSA-92xj-mqp7-vmcj, GHSA-cfm4-qjh2-4765, GHSA-gf8q-jrpm-jvxq, GHSA-ppp5-5v6c-4jwp, GHSA-q67f-28xg-22rw, GHSA-wxgw-qj99-44c2, GHSA-x4jg-mjrx-434g	注意

ecosystem	package	version	scope	relationship	候補数	OSV_ID	確認目安
npm	tar	4.4.13	runtime	unknown	12	GHSA-34x7-hfp2-rc4v , GHSA-3jfq-g458-7qm9, GHSA-5955-9wpr-37jh, GHSA-83g3-92jg-28cx, GHSA-8qq5-rm4j-mr97, GHSA-9ppj-qmqm-q256, GHSA-9r2w-394v-53qc, GHSA-f5x3-32g6-xq36, GHSA-qffp-2rhf-9h96, GHSA-qq89-hq3f-393p, GHSA-r628-mhmq-qjhw, GHSA-r6q2-hw4h-h46w	注意

ecosystem	package	version	scope	relationship	候補数	OSV_ID	確認目安
npm	handlebars	4.7.6	runtime	unknown	10	GHSA-2qvq-rjwj-gvw9 , GHSA-2w6w-674q-4c4q, GHSA-3mfm-83xf-c92r, GHSA-442j-39wm-28r2, GHSA-765h-qjxv-5f44, GHSA-7rx3-28cr-v5wh, GHSA-9cx6-37pm-9jff, GHSA-f2jv-r9rf-7988, GHSA-xhpb-hc6g-r9c6, GHSA-xjpj-3mr7-gcpf	注意
npm	lodash	4.17.20	runtime	unknown	5	GHSA-29mw-wpgm-hmr9 , GHSA-35jh-r3h4-6jhm, GHSA-f23m-r3pf-42rh, GHSA-r5fr-rjxr-66jc, GHSA-xxjr-mmjv-4gpg	要確認
npm	webpack-dev-server	3.11.2	unknown	unknown	3	GHSA-4v9v-hfq4-rm2v , GHSA-79cf-xcqc-c78w, GHSA-9jgg-88mc-972h	要確認
npm	jquery	3.4.1	runtime	unknown	2	GHSA-gxr4-xjj5-5px2 , GHSA-jpcq-cgw6-v4j6	要確認

ecosystem	package	version	scope	relationship	候補数	OSV_ID	確認目安
npm	minimist	0.0.8	runtime	unknown	2	GHSA-vh95-rmgr-6w4m , GHSA-xvch-5gv4-984h	要確認
npm	moment	2.29.1	runtime	unknown	2	GHSA-8hfj-j24r-96c4 , GHSA-wc69-rhjr-hc9g	要確認
npm	node-fetch	2.6.0	runtime	unknown	2	GHSA-r683-j2x4-v87g , GHSA-w7rc-rwvf-8q5r	要確認
npm	serialize-javascript	2.1.1	runtime	unknown	2	GHSA-5c6j-r48x-rmvq , GHSA-hxcc-f52p-wc94	要確認
npm	underscore	1.12.0	runtime	unknown	2	GHSA-cf4h-3jhx-xvhq , GHSA-qpx9-hpmf-5gmw	要確認
npm	ws	7.4.5	runtime	unknown	2	GHSA-3h5v-q93c-6h6q , GHSA-6fc8-4gx4-v693	要確認
npm	json5	1.0.1	runtime	unknown	1	GHSA-9c47-m6qq-7p4h	要確認
npm	semver	5.7.1	runtime	unknown	1	GHSA-c2qf-rxjj-qggw	要確認
npm	y18n	4.0.0	runtime	unknown	1	GHSA-c4w7-xm78-47vh	要確認
npm	got	11.8.2	optional	unknown	1	GHSA-pfrx-2q88-qq97	要確認

初動整理の次に選べるメニュー

詳細レポート（自動生成）：このレポートの優先確認表には17件の候補があります。クイックチェックレポートの自動仕分けで初動の確認順を把握できます。詳細レポートでは、追加情報がある場合に限り 顧客回答上 開発対応上 監査証跡上の目的別に、候補ごとの確認目的と未確認事項を自動整理します。

エキスパートレビュー（担当者コメント）：詳細レポートに追加して、ストラテジアの情報処理安全確保支援士であるエキスパート担当者が 修正を急ぐべきか 顧客へ先に説明すべきか 利用状況 到達可能性 修正版情報 影響範囲など追加判断に必要な論点を確認します。

8. 監査・委託先審査向けの記録

この章は、監査や委託先審査で後から確認しやすいように、クイックチェックレポートで自動生成した事実関係を残すための記録です。実際に確認した内容や不足している証跡を追記すると、監査説明や顧客説明の土台としてさらに使いやすくなります。

調査種別	加工済み依存関係データに基づくOSS脆弱性初動整理
入力データ種別	cyclonedx
入力dependency件数	17
公開脆弱性情報との照合対象件数	17
脆弱性候補があるdependency件数	17
脆弱性候補件数	80
照合対象外の主な理由	特記なし
追加確認が必要な代表項目	本番利用有無 該当機能の利用有無 外部到達可能性 修正版適用可否 顧客通知要否

初動整理の次に選べるメニュー

詳細レポート（自動生成）：このレポートの自動生成記録には、入力dependency 17件、照合対象dependency 17件、脆弱性候補 80件、照合対象外または精度限定の項目 0件が残ります。詳細レポートでは、追加情報がある場合に限り 確認済み範囲 未確認範囲 追加で残すべき記録を自動整理します。

エキスパートレビュー（担当者コメント）：詳細レポートに追加して、ストラテジアの情報処理安全確保支援士であるエキスパート担当者が 監査人や顧客が疑問に持ちやすい可能性のある論点と 追加で確認すべき証跡候補を明示します。

9. レポート生成条件とデータ取扱い

以下は監査判断そのものではなく、このクイックチェックレポートを作成するための入力条件とデータ取扱いに関する情報です。初動整理の根拠を後から照合するための管理情報として扱ってください。

生ファイル送信	送信していません
private package名	匿名化または件数化しています
secret候補	検出なし
人による個別確認	クイックチェックレポートと詳細レポートは自動生成です。エキスパートレビューでは担当者コメントを追加します
生成方式	提供された加工済み依存関係データと公開脆弱性情報に基づく自動生成

10. 初動整理の次に詳細レポートで自動生成する内容

クイックチェックレポートでは、ここまでの情報で調査の入口、確認すべき候補、未確認範囲を整理できません。今回の自動照合では、入力dependency 17件のうち照合対象dependency 17件、脆弱性候補があるdependency 17件、脆弱性候補 80件を確認しました。詳細レポートでは、この初動整理で省略した続きまで含め、追加情報を反映した完全版を自動生成します。顧客提出の参考にはできますが、最終的な安全判断や提出可否の保証ではありません。

このレポートで詳細レポートに進めると自動生成できること

今回見えていること	詳細レポートで自動生成すること
脆弱性候補 80件 / 該当dependency 17件が検出されています。	候補ごとに 本番利用有無 到達可能性 修正版適用可否 顧客回答で触れるべき論点を追加情報と照らし、省略のない詳細レポートとして自動生成します。
クイックチェックレポートの優先確認表には 17 件の候補が並んでいます。	顧客回答、開発確認、監査証跡の目的別に、確認順と依頼内容を詳細レポート上で自動整理します。
クイックチェックレポートでは主要な入口文と確認項目を各2項目まで確認できます。続きとして合計 11項目が残っています。	省略中の所見、判断ポイント、顧客向け文面、開発者向け確認事項を、今回の検出結果に合わせて省略なく自動生成します。

あなたのケースで自動生成する成果物

詳細レポートでは、このクイックチェックレポートに使用したものと同一SBOMまたは依存関係データに追加情報を結びつけ、クイックチェックレポートで省略した項目を含む自動生成の完全版として下記の成果物を作成します。

詳細レポートで自動生成する成果物	このケースで材料になる情報	自動生成に必要な追加情報
顧客提出参考用 詳細レポート 顧客提出時の参考になる回答文、確認済み事項、未確認事項、対応予定のたたき台を自動生成します。	脆弱性候補 80件、該当dependency 17件、優先確認候補 17件をもとに、顧客へ説明すべき範囲と未確認として残す範囲を分けます。	顧客からの質問文、回答期限、提出先、契約や委託先審査の前提
責任者向け判断メモ 責任者が承認前に見るべき論点、追加確認の要否、顧客回答前に止めるべき点を自動整理します。	入力dependency 17件、照合対象dependency 17件、照合対象外または精度限定 0件を判断材料にします。	対象システム、サービス重要度、本番利用有無、外部公開有無、顧客影響の前提
開発者向け確認依頼 / チケット案 開発チームへ依頼する確認項目、確認観点、チケット文面、回答してほしい期限や粒度を自動整理します。	優先確認候補 17件と、該当dependency 17件、照合対象外理由を使います。	対象dependencyの利用箇所、ビルド/実行環境、修正版適用可否、回帰テスト範囲
監査・委託先審査向け記録 何を自動照合できたか、何を未確認として残すか、追加で残すべき証跡候補を自動整理します。	照合できた範囲 17件と、照合対象外または精度限定 0件を分けて扱います。	確認日、確認者、関連チケット、修正方針、追加確認結果、証跡URL

エキスパートレビューは別メニューです

エキスパートレビューは詳細レポートの標準成果物には含まれません。詳細レポートに追加して別途エキスパートレビューを選んで申し込んだ場合に、ストラテジアの情報処理安全確保支援士であるエキスパート担当者が、脆弱性候補 80件、該当dependency 17件、優先確認候補 17件とクイックチェックレポートで省略された続き 11項目を対象に、断定してよい表現、避けるべき表現、顧客や監査人に誤解されやすい論点についてコメントを付けます。

追加で必要な情報: 利用状況、到達可能性、顧客要求、契約上の前提、既に実施した確認結果

項目	クイックチェックレポートで表示	省略中	詳細レポートで自動生成する整理
一次所見	先頭2項目まで	残り1項目	このレポートの検出件数と照合対象外理由に合わせ、省略した所見の続きまで自動生成します。
責任者向け初動判断メモ	先頭2項目まで	追加項目なし	このレポートの脆弱性候補件数、照合対象外件数、優先確認候補をもとに、責任者が見るべき判断材料を自動生成します。
責任者が確認すべき判断ポイント	先頭2項目まで	残り4項目	今回の候補に対して本番利用、到達可能性、修正要否、顧客通知要否を確認する観点を省略なく自動生成します。
顧客向け一次回答案	先頭2項目まで	残り1項目	このレポートで確認済みの自動照合結果と未確認範囲を分け、顧客提出時の参考になる文面を自動生成します。
開発者向け確認事項	先頭2項目まで	残り5項目	このレポートの候補dependencyや照合対象外理由に合わせ、開発チームに依頼しやすい確認項目やチケット文面を自動生成します。

詳細レポートで続きを作成する際に必要な情報

- このクイックチェックレポートに使用したのと同じSBOMまたは依存関係データ
- 対象システム サービス名 本番利用有無
- 顧客からの質問文 回答期限 提出先の前提
- 対象dependencyの利用箇所 外部公開有無 認証前到達可能性
- 修正版の適用方針 回避策 回帰テスト範囲
- 監査 委託先審査 顧客説明など提出目的

クイックチェックレポートで見えた候補と未確認範囲に上記の追加情報を合わせることで、顧客提出、開発確認、監査記録の参考になる詳細レポートを自動生成できます。

11. 免責・注意事項

ストラテジアの責任範囲について

本レポートは利用者が提供した加工済み依存関係データと公開脆弱性情報をもとに自動生成した参考資料です。

株式会社ストラテジアは本レポートの内容をもって入力データの完全性 公開脆弱性情報の網羅性 実環境での影響有無 顧客提出の適否 契約上または法令上の通知要否を保証しません。

本レポートは脆弱性診断 侵入テスト ソースコードレビュー 到達可能性解析 法的判断 契約判断を代替するものではありません。

最終的な影響判断 顧客提出 リスク受容 修正方針 顧客通知の要否は利用企業の責任で確認してください。

詳細レポートはクイックチェックレポートで省略した続きまで含める自動生成の完全版です。単体でも顧客提出時の参考資料になりますが、自動生成資料です。

エキスパートレビューは詳細レポートに追加して、ストラテジアの情報処理安全確保支援士であるエキスパート担当者がコメントを付ける別メニューです。

- 本レポートは提供された加工済み依存関係データと公開脆弱性情報に基づく自動生成の初動整理資料です
- 本レポートは脆弱性診断 侵入テスト ソースコードレビュー 到達可能性解析 契約上または法令上の通知義務判断を代替しません
- 本レポートはCVSS 重大度 EPSS 悪用状況 修正版候補 本番影響 顧客通知要否を断定しません
- 本レポートは入力データの完全性 依存関係解決の完全性 公開脆弱性情報の網羅性 実環境における影響有無を保証しません
- version unknown の依存関係は既知脆弱性照合の精度が限定されます
- private package は公開脆弱性情報との照合対象外です
- 最終的な影響判断 顧客提出 リスク受容 修正方針の確定は利用企業の責任で確認してください
- 詳細レポートはクイックチェックレポートで省略した続きまで含める自動生成の完全版であり 顧客提出時の参考資料です
- エクスパートレビューは詳細レポートに追加してストラテジアの情報処理安全確保支援士であるエキスパート担当者がコメントを付ける別メニューです
- クイックチェックレポート単体には個別確認 エクスパートレビュー 顧客提出文書としての保証は含まれません

詳細レポートで自動生成する成果物

クイックチェックレポートでは、今回の依存関係データから調査の入口、確認候補、未確認範囲までを整理しました。詳細レポートでは、このクイックチェックレポートに使用したものと同一SBOMまたは依存関係データに追加情報を結びつけ、省略をなくした完全版を自動生成します。顧客提出や責任者判断、開発依頼、監査説明の参考資料として使えますが、自動生成資料です。

省略中の続き 11項目	脆弱性候補 80件	該当dependency 17件	優先確認候補 17件
-----------------------	---------------------	----------------------------	----------------------

詳細レポートで自動生成する成果物	このケースで材料になる情報	自動生成に必要な追加情報
<p>顧客提出参考用 詳細レポート</p> <p>顧客提出時の参考になる回答文、確認済み事項、未確認事項、対応予定のたたき台を自動生成します。</p>	脆弱性候補 80件、該当dependency 17件、優先確認候補 17件をもとに、顧客へ説明すべき範囲と未確認として残す範囲を分けま	顧客からの質問文、回答期限、提出先、契約や委託先審査の前提
<p>責任者向け判断メモ</p> <p>責任者が承認前に見るべき論点、追加確認の要否、顧客回答前に止めるべき点を自動整理します。</p>	入力dependency 17件、照合対象dependency 17件、照合対象外または精度限定 0件を判断材料にします。	対象システム、サービス重要度、本番利用有無、外部公開有無、顧客影響の前提
<p>開発者向け確認依頼 / チケット案</p> <p>開発チームへ依頼する確認項目、確認観点、チケット文面、回答してほしい期限や粒度を自動整理します。</p>	優先確認候補 17件と、該当dependency 17件、照合対象外理由を使います。	対象dependencyの利用箇所、ビルド/実行環境、修正版適用可否、回帰テスト範囲

詳細レポートで自動生成する成果物	このケースで材料になる情報	自動生成に必要な追加情報
<p>監査・委託先審査向け記録</p> <p>何を自動照合できたか、何を未確認として残すか、追加で残すべき証跡候補を自動整理します。</p>	<p>照合できた範囲 17件と、照合対象外または精度限定 0件を分けて扱います。</p>	<p>確認日、確認者、関連チケット、修正方針、追加確認結果、証跡URL</p>

エキスパートレビューは別メニューです

エキスパートレビューは詳細レポートの標準成果物には含まれません。詳細レポートに追加して別途エキスパートレビューを選んで申し込んだ場合に、ストラテジアの情報処理安全確保支援士であるエキスパート担当者が、脆弱性候補 80件、該当dependency 17件、優先確認候補 17件とクイックチェックレポートで省略された続き 11項目を対象に、断定してよい表現、避けるべき表現、顧客や監査人に誤解されやすい論点についてコメントを付けます。

追加で必要な情報: 利用状況、到達可能性、顧客要求、契約上の前提、既に実施した確認結果

同じSBOMと対象システム情報で詳細レポートを作成できます

このクイックチェックレポートに使用したのと同じSBOMまたは依存関係データに、対象システム、顧客からの質問文、回答期限、本番利用有無、到達可能性、修正方針を加えることで、顧客提出、責任者判断、開発依頼、監査説明の参考になる詳細レポートを自動生成できます。

発行管理用情報

この情報はレポートの再確認や問い合わせ時の照合に使うための管理情報です。レポート本文の判断内容そのものではありません。

Report ID	rpt_20260527153902_63e54df7cee61b38
生成日時	2026-05-27T06:39:06.566Z
入力種別	cyclonedx

STRATEGIA COMPANY / 本資料は自動生成されたOSS脆弱性レポート クイックチェックレポートです